フットスケール

取扱い説明書

Ver.20101028
(シリアルNoが10から始まるモデル用)

目次

１章　フットスケール

◆　正しく安全にお使いいただくために　……　３

２章　設置・準備

◆　注意　……　６

◆　設置方法　……　７

３章　計測

１．計測の前に　……　８
２．ソフトの起動　……１０
３．測定の操作
① 性別の指定　……１１
② 足確認　……１１
③ 足確認画面表示　……１１
④ 立ち位置　……１３
⑤ 測定　……１４
⑥ 測定結果の修正　……１４
⑦ 主なボタン　……１５
⑧ 測定結果修正の例　……１５
４．測定後の操作
① 足囲入力　……１８
② お客様情報の保存　……１８
③ 印刷　……２０
④ 画面のクリア　……２１
⑤ お客様情報の検索　……２１
⑥ 終了　……２１

４章　応用

１．印刷レイアウトについて　……２２
２．印刷レイアウトの追加設定　……２２
３．ＣＳＶファイル出力　……２６
４．精度確認　……２８

５章　Ｑ＆Ａ　……３２

６章　主な仕様　……３３

７章　アフターサービスと保証　……３４

第1章　フットスケール

◆正しく安全にお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書及び製品への表示では、製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人への危害や財産への損傷を未然に防止するために、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

記号は行為を規制したり指示の内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

警告

●万一、機器の内部に水、異物などが入った場合は、まず、USBケーブルをパソコンから抜き、パソコン本体の電源スイッチを切り、パソコンの電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

●この機器を分解あるいは改造しないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

●足載せ部は十分強度が保たれておりますが、足載せ部に飛び乗ったり、１５０Kgをこえる重いものや堅いものを載せないでください。故障やけがの原因となります。

●足載せ部にキズ等の異常が見られたときは、使用を中止し販売店にご連絡ください。

●USBケーブルの上に重いものをのせたり、コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。コードが破損して、誤動作・火災・感電の原因となります。

注意

●この機器は平らで丈夫な床上において使用してください。お客様が乗られるときに、足を踏み外したり、倒れる原因となります。

●足載せ位置以外の場所にはお客様を載せないよう、ご指示ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。

●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●お手入れの際は安全のため、USBケーブルをパソコンから抜いて行ってください。

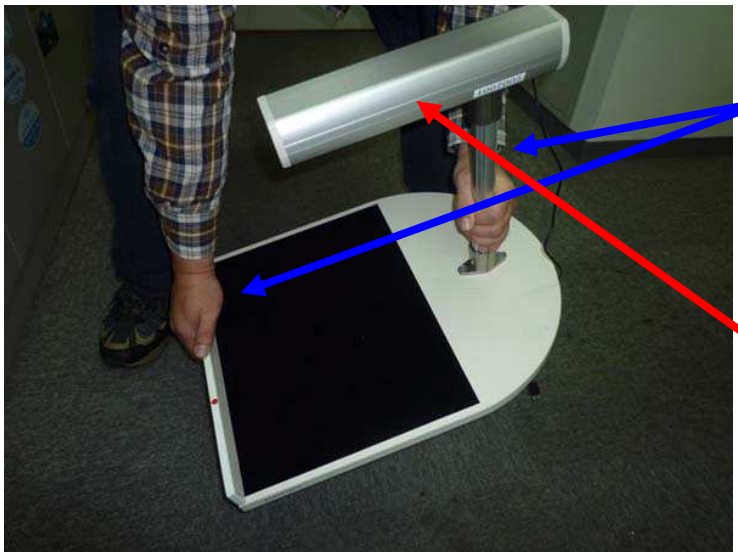
●一年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。測定精度を保つためにも有効です。尚、掃除費用については、販売店などにご相談ください。

第2章　設置･準備

注意

●平らで丈夫な床上において使用して下さい。お客様が乗られるときに、足を踏み外したり、倒れる原因となります。

●持ち運びの際は、図に示す位置を持って運んでください。カメラケースを、決して持たないで下さい。カメラがずれ足の測定に大きな誤差を生じます。



持ち運びの際には、この位置を持って下さい

カメラケース
ここを決して持たないで下さい

◆設置方法

① ソフトウェアをインストールしていない場合は、カメラドライバ、プリンタドライバとフットスケール**専用ソフトウェア**のインストールが必要です。

② パソコンを設置し、パソコンから1m以内の位置にフットスケールを設置して下さい。設置場所は、自然光が入る窓、扉の近くや、スポットライトの直射光があたる場所はなるべく避けてください。

③ パソコンとUSBで接続します。
フットスケールの背面から出ているUSBケーブルをパソコンのUSBコネクタに差し込みます。
パソコンにコネクタが複数ある場合、設定してあるUSBコネクタに接続します。
（出荷時にUSBコネクタにはマークしてあります。）

フットスケール 背面から出ているUSBケーブル

パソコンの背面の
USBコネクタの例

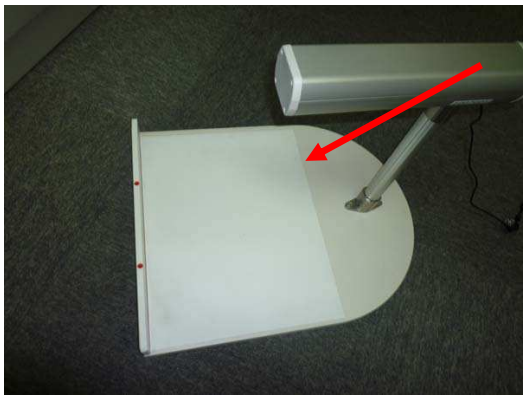
④ カメラケースには触れないようにしてください。
カメラ位置がずれて誤差の原因になります。

第3章　計測

1．計測前に‥

① 計測面上部にゴミ、汚れがないか、チェックしてください。

汚れている場合は、湿らせた柔らかい布で拭き取ってください。



汚れやゴミが無いことをチェックする

② 靴下を履く場合は
靴下のヨレ、たるみをとってから計測してください。

また、糸くずほこり等が靴下に付いていないかもチェックしてください。

※ 黒っぽい靴下の場合、計測エラーが出る場合があります。この場合、添付の黒／白シートの白い面を計測面上に敷いて、計測してください。それでも計測できない場合は、白い靴下などを事前にご用意いただき、履き替えていただくか、**素足になってから**再度測定してください。

白／黒シート

黒い面

→

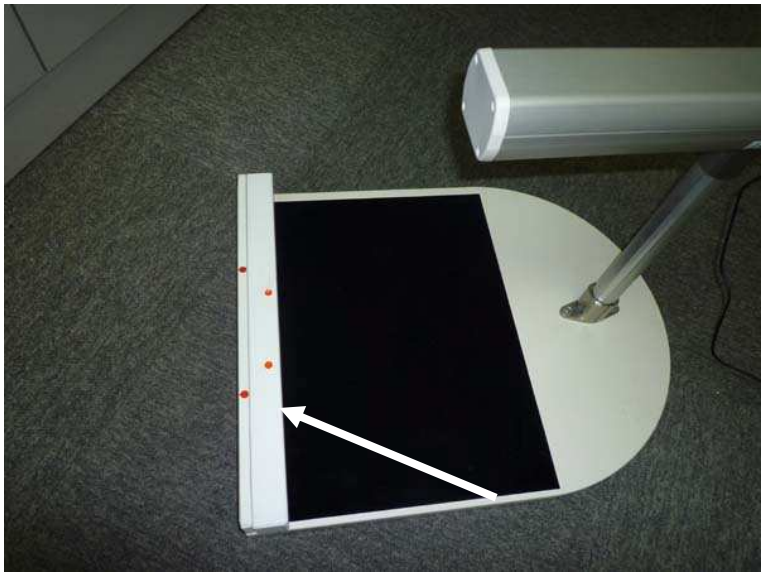
白い面

※ ズボン、スラックスの裾は、くるぶしが見える程度まで、折り上げておいて下さい。
裾が写ると両足が繋がって見えて測定できない場合があります。

悪い例

良い例

※ 15cm以下の足長は測定できないので、小さなお子様の場合、付属の子供用アダプタを取り付けてご利用ください。

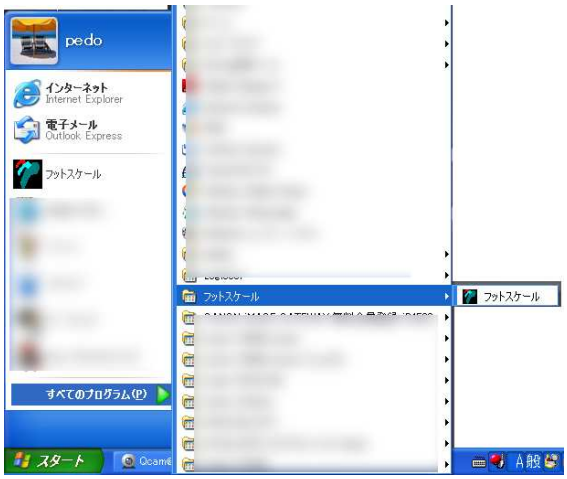


※ 靴を脱ぎながらフットスケールにのっていただくのは、姿勢が不安定となり危険です。前面にマット、椅子等をご用意いただき、お客様にそこで靴を脱いでいただいてから、 フットスケールにのっていただいてください。

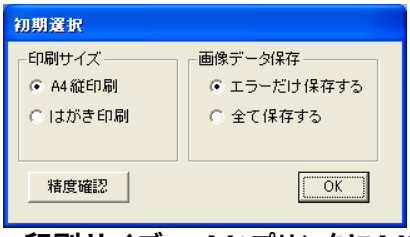
2．ソフトの起動
(フットスケール専用ソフトウェアの操作)

起動方法1）ディスクトップ上の下記のアイコンをダブルクリックしてください。

起動方法２）スタートメニュー　→すべてのプログラム→フットスケール→フットスケールを左ボタンでクリックして下さい。

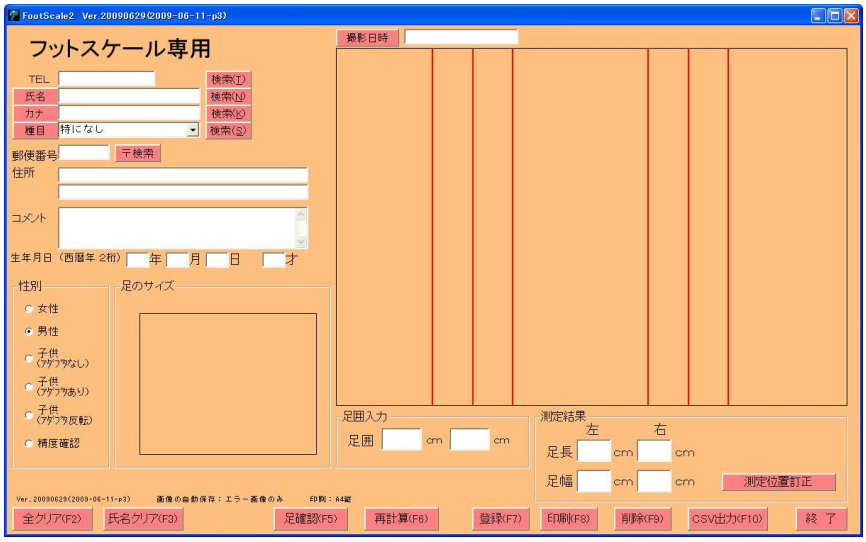


「利用できるまでしばらくお待ちください」という音声ガイドの後、数秒後に「利用できます」と音声ガイドに続き、下記のような初期選択画面が出力されます。



印刷サイズ　A4：プリンタにA4縦用紙をセットしてください。
はがき：プリンタにはがきをセットし（A4→はがきの縮小指定を行ってください。）
画像データ保存　指定に従い、測定時点で画像をマイドキュメントのFootScaleフォルダに保存します。

「精度確認」ボタンをクリックすると精度確認画面（後述します）が表示されます。
「OK」をクリックしてください以下の画面（以下、FootScaleウィンドウと呼びます）が表示されます。



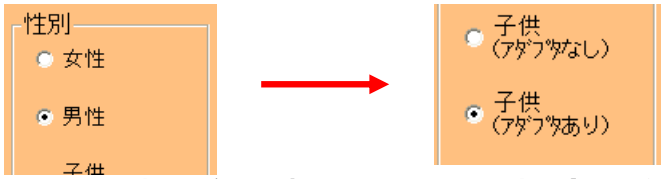
3．測定の操作

FootScaleウィンドウでの測定の操作の概略を説明します。

①　性別の指定

１２歳以上の男性：「男性」　１２歳以上の女性：「女性」　１１歳以下：子供（ｱﾀﾞﾌﾟﾀなし）をクリックしてください。

１５cm以下の足長は測定できないので、小さなお子様の場合、付属の子供用アダプタを取り付け「子供（アダプタあり）」をクリックして下さい。



また、子供用アダプタを反転して窪みが無い方向で使用される時は「子供（アダプタ反転）」をクリックして下さい。

フットスケール　シリアルＮｏ　0707001～0808009のモデル

性別指定	年齢(目安)	測定可能サイズ
男性：	１２歳以上	２０cm～３０cm
女性：	１２歳以上	１９．５cm～２７cm
子供(アダプタなし)：	１１歳以下	１５cm～２６cm
子供(アダプタあり)：	１１歳以下	１２cm～２６cm
子供(アダプタ反転)：	１１歳以下	１０．５cm～２５cm
精度確認	精度確認シートによる精度確認（足長）で使用します	

フットスケール　シリアルＮｏ　1007001～のモデル

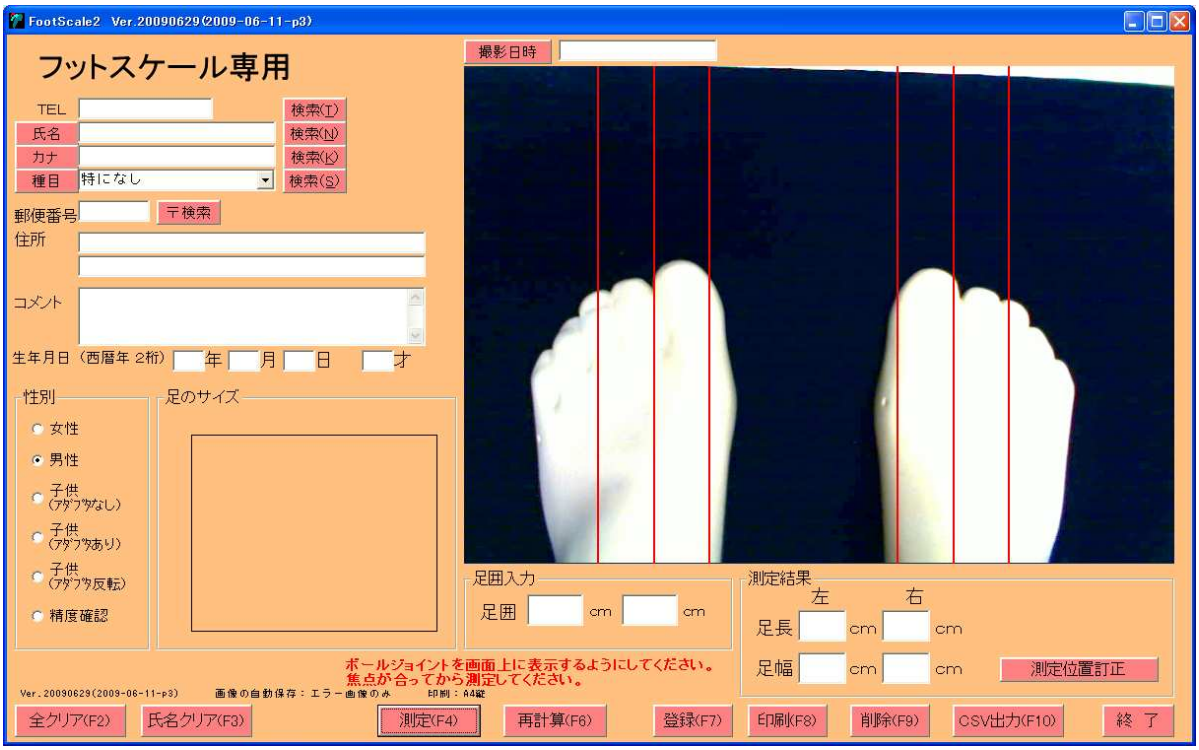
性別指定	年齢(目安)	測定可能サイズ
男性：	１２歳以上	２０cm～３０cm
女性：	１２歳以上	１９．５cm～２７cm
子供(アダプタなし)：	１１歳以下	１５cm～２６cm
子供(アダプタ窪みなし)：	１１歳以下	１０．５cm～２５cm
精度確認	精度確認シートによる精度確認（足長）で使用します	

②　足確認

足確認(F5)と表示されている四角（ボタン）を左クリックします。
または、キーボードのF5キーを押します。

③　足確認画面表示

「測定の準備が出来ました。・・・・・・背筋を伸ばしてお立ちください」という音声ガイダンスと共に下記の画面が表示されます。画面の赤い線に平行に立ってください。



画面上の赤い線はガイド線と呼び、足の位置を分かりやすくする為に表示しています。
この線の位置は測定精度と直接関係はありませんが、修正する場合は別途「ガイド線の位置修正方法」を参照してください。

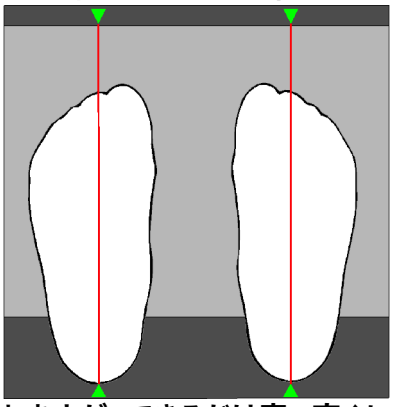
④　立ち位置

お客様にフットスケールに載って頂きます。かかとをゴム版の赤いマーク位置に軽く着け、足をまっすぐにするよう誘導して下さい。

上図ようにかかとをゴム版の赤いマーク位置に軽く着けます

靴を脱いだ直後はつま先がかなり緊張されている方がいらっしゃいますので、可能なら、緊張を手でほぐしてあげてください。

足の位置は、下図のように踵から人差し指が、できるだけ直線になるように立ってください



多少の傾きは自動補正しますが、できるだけ真っ直ぐになるようにしてください。
小さな足の場合、少なくともボールジョイントを画面上に見えるようにしてください。
（傾きは大きくとも、**20度以内**に収まるようにしてください。）

。

両足に均等に体重をかけ、前かがみにならないよう
正しい姿勢で、直立してください。

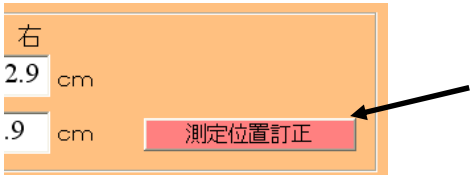
画像の焦点（ピント）が合うまでお待ちください。

⑤ 測定

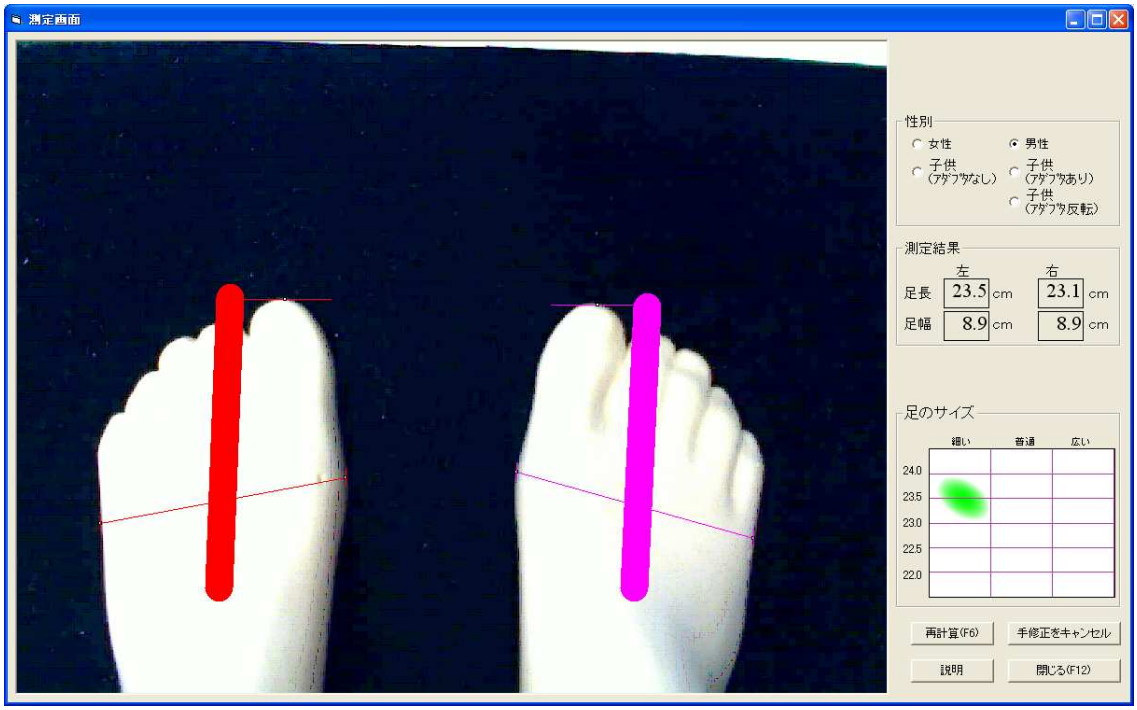
キーボードのF4キーを押します。「測定が終わりました。降りていただいて結構です」という音声ガイダンスの後、測定した結果が表示されます。

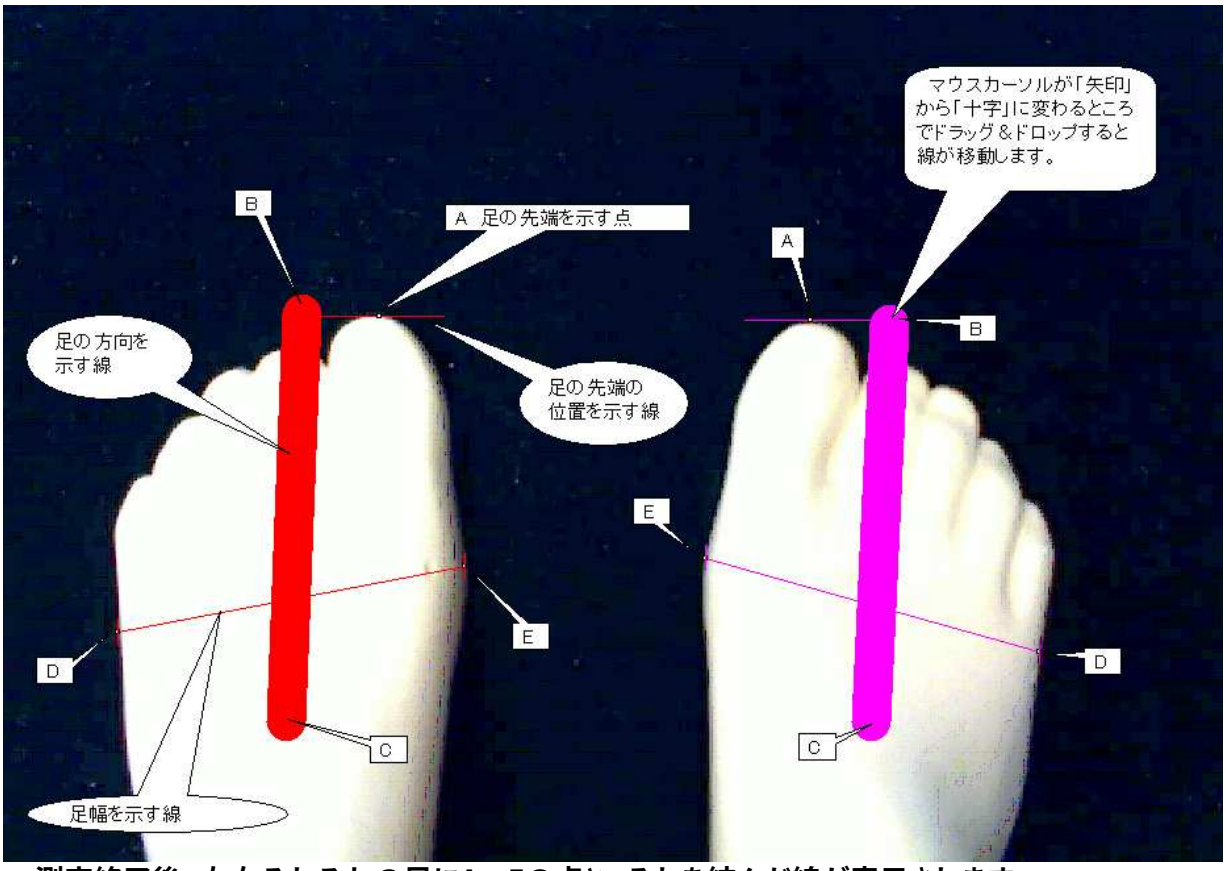
⑥ 測定結果の修正

ホコリ、ゴミ、影などによる測定誤差やエラーが解消しない場合や、足の傾きが正しく無い場合、測定ポイントを手動で修正する事ができます。(足の傾き、足長、足幅の修正)



「測定位置修正」ボタンをクリックしてください。下記の画面は表示されます。





測定終了後、左右それぞれの足にA～Eの点と、それを結んだ線が表示されます。

赤とピンクの太い線は足の方向を示します。

A～Eの点はマウスで移動（ドラッグ&ドロップ）修正する事ができます。

移動できるポイントではマウスカーソルが**矢印**（ ）から**クロス**（ ）に変わります。

1．足の先端が正しくない場合　「A」のポイントをマウスで移動してください。

2．足幅が正しくない場合
「足幅を示す線」の両端「D」または「E」をマウスで移動し正しいボールジョイントに移動してください。

3．足の方向を正しく認識していない場合
「足の方向を示す線（赤とピンクの太い線）」の両端　「B」または「C」のポイントをマウスで移動し線の方向を修正してください。
この線は測定する足の方向を示すものです。離れた位置にあっても問題はありません。

「再計算」ボタンをクリックすると変更された位置でサイズを再計算します。

⑦主なボタン

【足確認】
足確認画面を表示します。（測定結果の画面と入れ替わります）

【再計算ボタン】
画面に表示されたポイント及び入力された「足囲」を元に再計算します。
ただし、性別が変更された場合は手入力を無視し、画像から再計算します。

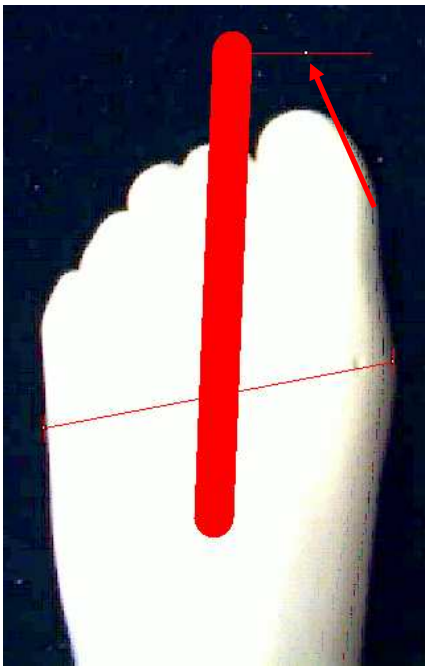
【手修正をキャンセル】
マウスでの移動、入力された「足囲」をキャンセルし測定直後の値に戻します。
(保存データを呼び出した場合は保存データに戻ります。)

【説明】
測定画面の簡単な説明を表示します。

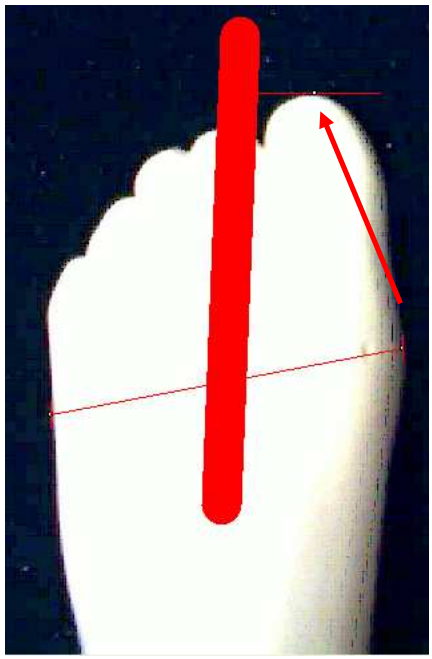
【閉じる】
FootScaleウィンドウに戻ります

⑧ 測定結果の修正の例

1）足の先端が正しくない場合

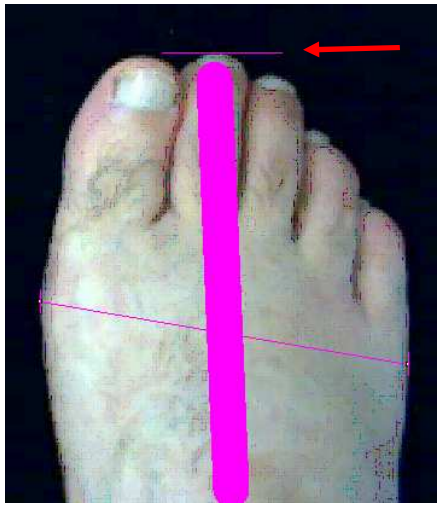


先端が正しくありません。
「A」をドラッグドロップし正しい
先端に持ってゆきます。
→



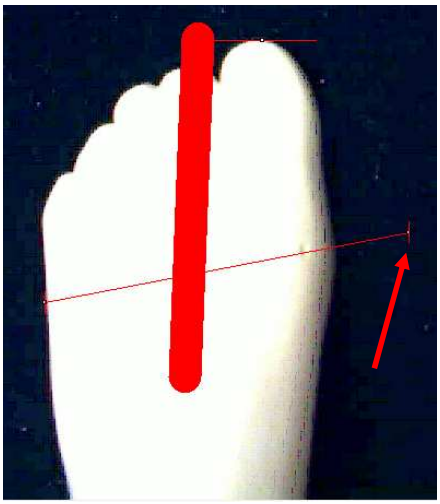
「再計算」ボタンをクリック

先端が正しくありません。
「A」をドラッグドロップし正しい
先端に持ってゆきます。
→



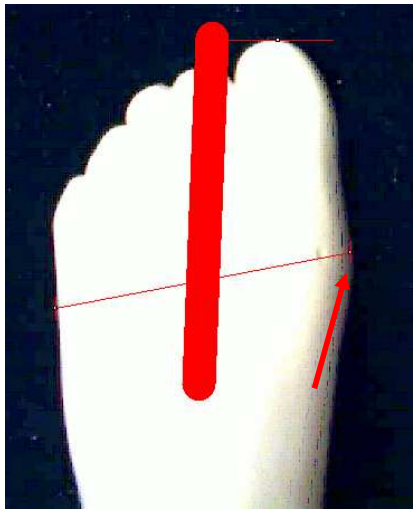
「再計算」ボタンをクリック

2）足幅が正しくない場合



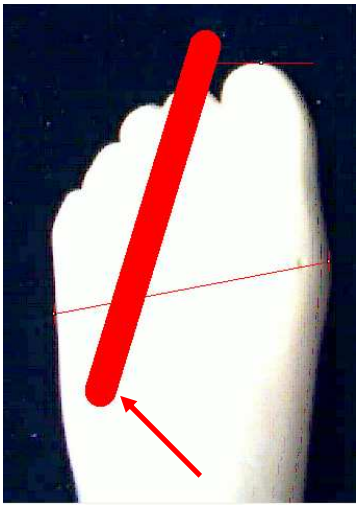
足の幅を示す「D」の点が正しくありません。
ドラッグドロップし正しい位置に持ってゆきます。

→



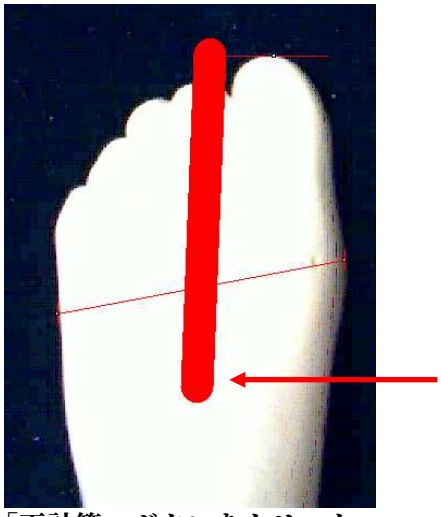
「再計算」ボタンをクリック

3）足の方向を正しく認識していない場合

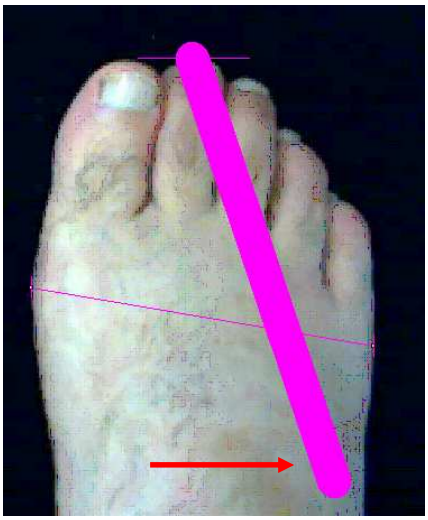


足方向を示す線「B－C」が正しくありません
「C」をドラッグドロップし足方向に合わせます。

→

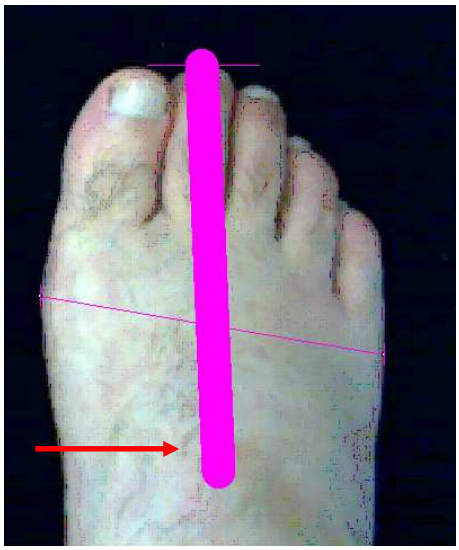


「再計算」ボタンをクリック



足方向を示す線「B－C」が正しくありません
「C」をドラッグドロップし足方向に合わせます。

→



「再計算」ボタンをクリック

4．測定後の操作

①足囲入力

足囲を入力する事ができます。
「メジャーで測定した手計りの足囲の数値」を入力する事ができます。
足囲を入力した場合は、足幅の数値より優先しサイズに換算します。

例えば　上記のように入力し「再計算」ボタンをクリックします。

下記の様にサイズの楕円の代わりにJISサイズが表示されます。

②お客様情報の保存

お客様の電話番号･名前等を入力し、登録ボタンをクリック（又は,F7キーの押下）して、
コンピュータに情報を保存することができます。

ココに
連番だけ
を入れて
管理する
事も
可能です

登録には電話番号・氏名・カナ・生年月日・郵便番号・住所・コメントを全て入力する必要はありません。

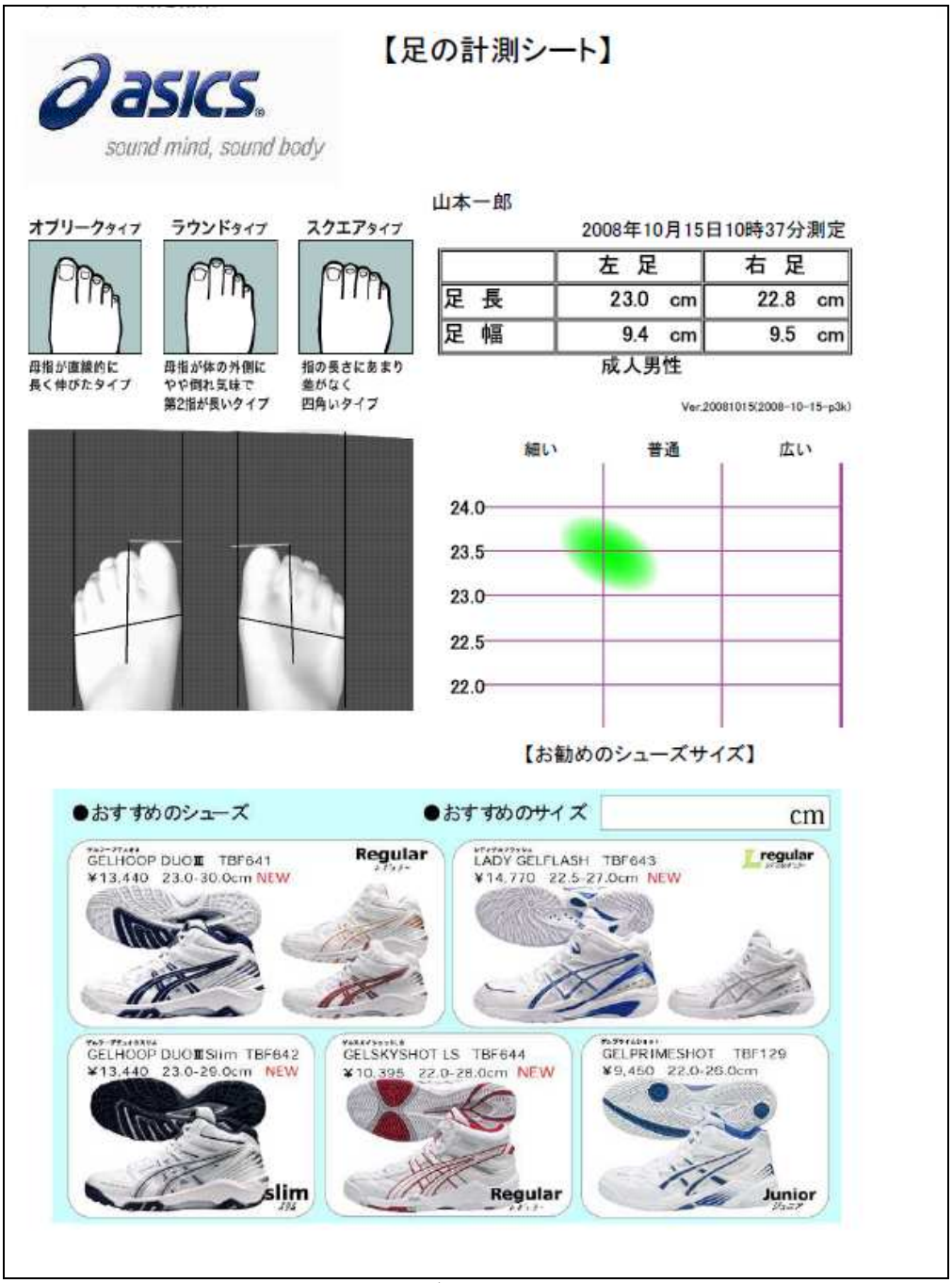
登録する際に必ず入力しなければならないのは、電話番号だけです。

測定したデータだけ保存したい場合は、電話番号に10桁以内の適当な数字、たとえば,その日の年月日と何番目のお客様かを電話番号の代わりに入力する事も可能です。
電話番号欄には数値の他、ハイフォン、括弧の入力が可能です。
（例えば、2008年9月21日の5番目お客様ですと、080921-0005　や　単に　005　のような連番）。

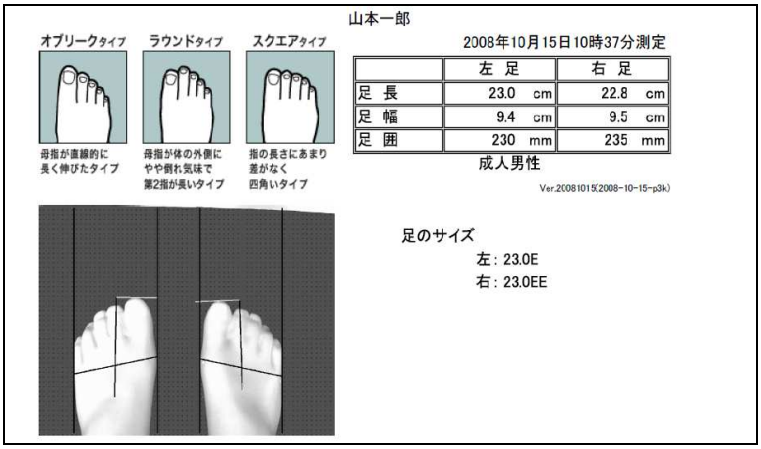
又、生年月日の年は、西暦で入力しますが、数字の前に「s」を入力すると、昭和で入力できます。例えば昭和４０年生まれですと、ｓ４０と入力してください。同様に、大正はt、平成はhと入力して下さい。
生年月日を入力すると年齢は自動計算します。

③印刷

印刷をクリックする（F9ｷｰを押す）と下図のようにプリンタから印刷されます。



足囲を入力したときは入力した足囲が印刷され、サイズの楕円の代わりに足サイズが印刷されます。

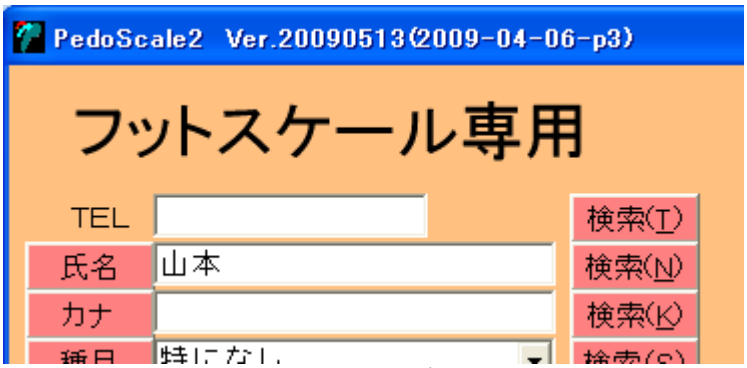


⑤ **画面のクリア**

登録や印刷が終わり、次のお客様を待つ状態になれば、「全クリア」ボタンをクリック（F2キーを押下）して下さい。以前のお客様の情報が画面から全て消えます。次のお客様に他のお客様の情報をお見せすることは出来るだけ避けてください。「氏名クリア」ボタン（F3キー）は、全クリアせずに次のお客様の足を測定した場合に、前のお客様の氏名等の情報を画面から消すために使用します。

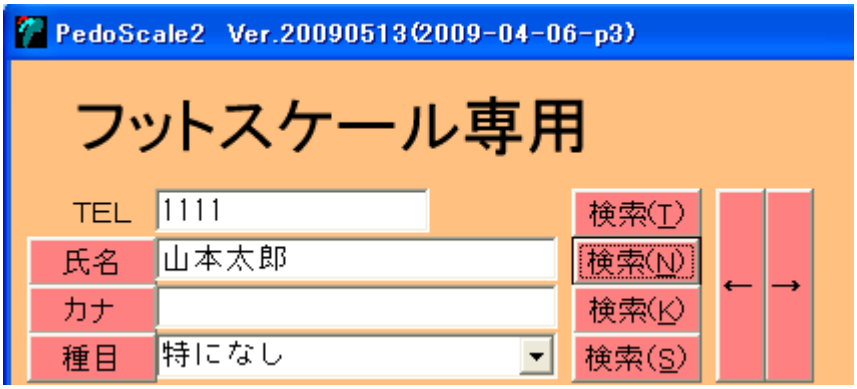
⑥ **お客様情報の検索**

登録したお客様の情報を後日見るには、電話番号又は、氏名の一部又は、カナの一部を入力し、その横の「検索」ボタンをクリック（ALTキーを押しながらTキーを押）して下さい。山本一郎様を登録した場合、氏名に山本と入力し「検索」ボタンをクリックすると、山本で登録した情報を順じ見ることができます。

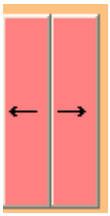


氏名に「山本と入力」し「検査」ボタン

↓



氏名に「山本」を含む人が表示される。
複数存在する場合は右記の矢印ボタンで選択できます。



⑦ **終了**

終了する場合は、「終了ボタン」をクリック（ALTキーを押しながらF4キーを押）して下さい。

第4章　応用

1．印刷用レイアウトについて

フットスケール開始時にプリント選択画面で「A4縦印刷」か「はがき印刷」を選択します。
事前に各々の印刷レイアウトで使用するプリンタは「通常使うプリンタに設定」を実施し
下記の印刷設定を実施してください。

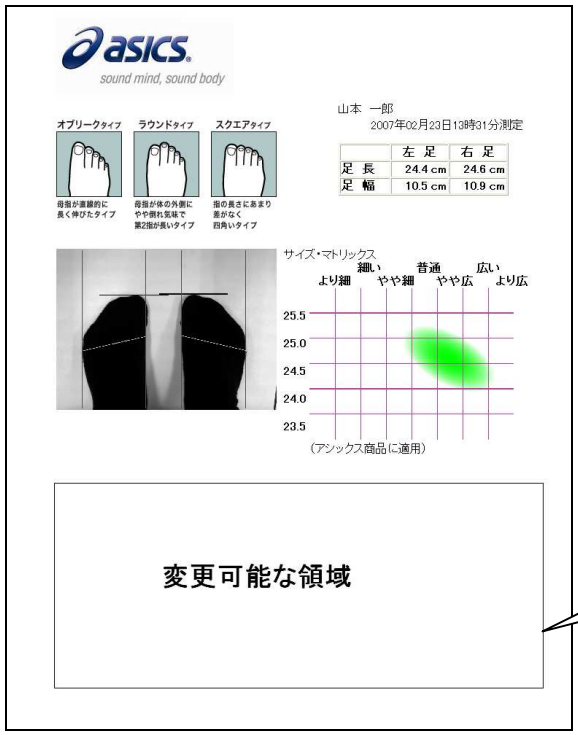
「A4縦印刷」：ページサイズ、出力サイズ共にＡ４縦を設定してください。
（通常は何もしなければＡ４縦になっています。）

「はがき印刷」：ページサイズ　Ａ４横、出力サイズ　ハガキ横　と縮小設定（フィット印刷設定）を
行ってください。

また、「A4縦印刷」の場合は下記のように、印刷レイアウトの追加設定を行う事ができます。

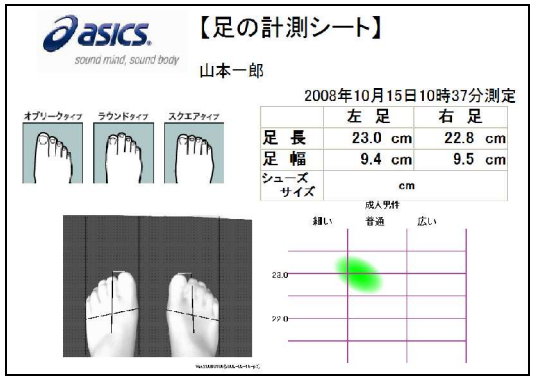
2．印刷用レイアウトの追加設定

「A4縦印刷」は印刷用紙の下部の部分につきましては、下記の手順で自由にレイアウトする事が
可能です



この部分は画像や文字データの挿入が可能です。
推奨商品のアピールや店舗広告のスペースとして
活用できます。

＜参考＞はがき印刷につきましては下記のレイアウトで追加設定を行う事はできません。

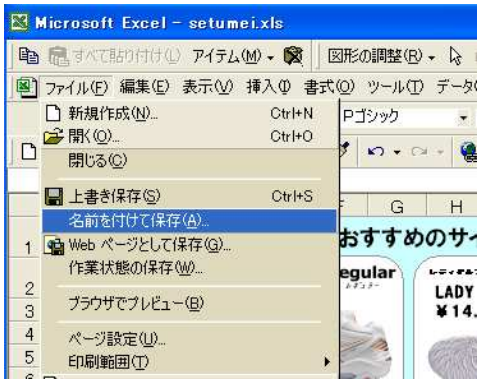


Excelを利用してレイアウトを作成します。

1) サイズは後で微調整を行うがA4縦で印刷プレビューした時に下記ぐらいのサイズで作成する。
セルの背景色は表示されません。背景色が必要な場合はテキストボックス等で色を付けてください。 画像を貼り付ける等で自由にレイアウトしてください。

プリンターの余白によって大きさは若干異なりますが、
8.76cm×14.05cmのテキストボックスを作成しその中でデザインを行うとわかりやすく作成できます。

2) 保存する。



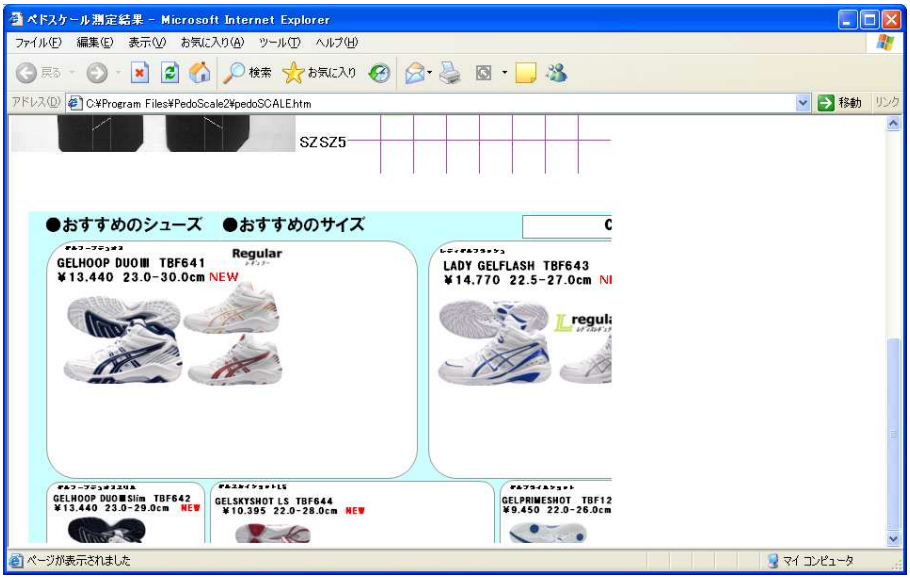
メニューバーより「ファイル」→「名前をつけて保存」を選択する。

①ファイルの種類「Webﾍﾟｰｼﾞ(*htm,*html)」を選択する。
②保存先フォルダを指定する。
③「選択範囲(L):シート」を選択する。
④ファイル名を「setumei.htm」とし「保存」ボタンを押し保存する。

3) 格納する
保存したファイル(「setumei.htm」とフォルダ「setumei.files」)をＵＳＢメモリ等に保存しフットスケールを接続したパソコンの「C:\footscale」(ドライブC直下のfootscaleフォルダ)にコピーしてください。

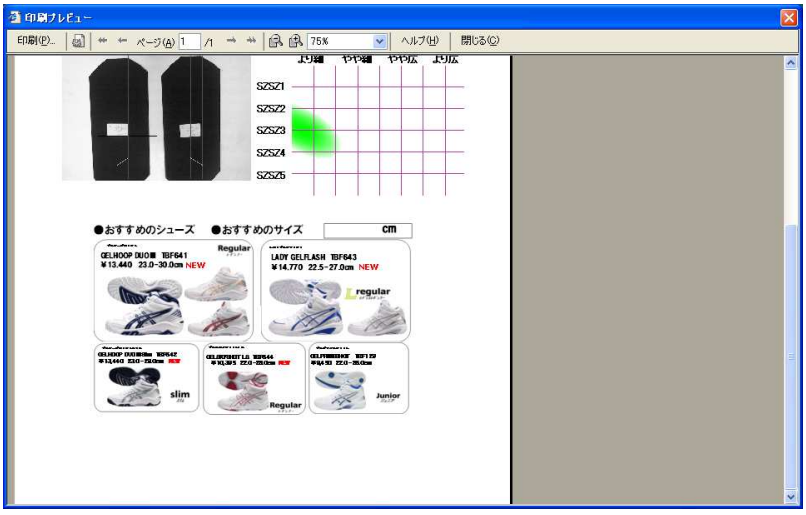
4) チェック

①C:\footscale内のショートカット「pedoSCALE.htm」を起動して下記のように出力内容が途中で切れてないかチェックする。切れていればエクセルファイルを再編集して切れない大きさに調整する。



②ページ内に収まったら「ファイル」→「印刷プレビュー」を参照する。

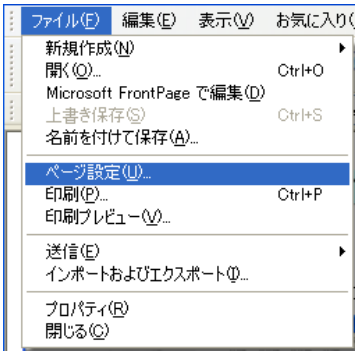
③内容が切れてなく、1ページ内に収まっておればOKです。
そうで無い時は再度、エクセルファイルを再編集して切れない大きさに調整する。



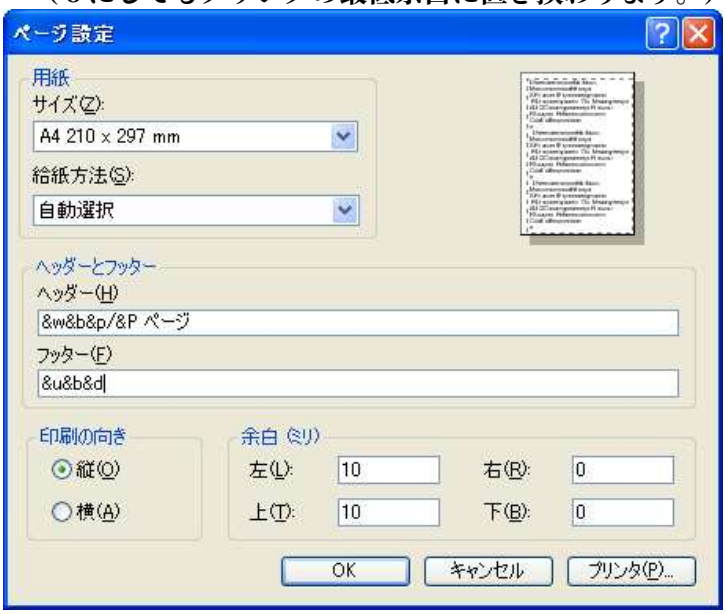
④ページ余白の設定

ページ余白が大きすぎますと2ページにわたって印刷されたりする場合があります。
下記の方法でページ余白の調整を行えます。

・インターネットエキスプローラーのメニューバーより「ファイル」「ページ設定」を選択する。



・上下左右の余白の大きさを調整します。
印刷は右上から始まりますので右・下は0に設定しても良いと思います。
（0にしてもプリンタの最低余白に置き換わります。）



3．ＣＳＶファイルの出力

測定日を指定し、登録された測定結果をＣＳＶファイルに出力することができます。

出力項目は下記の通りです

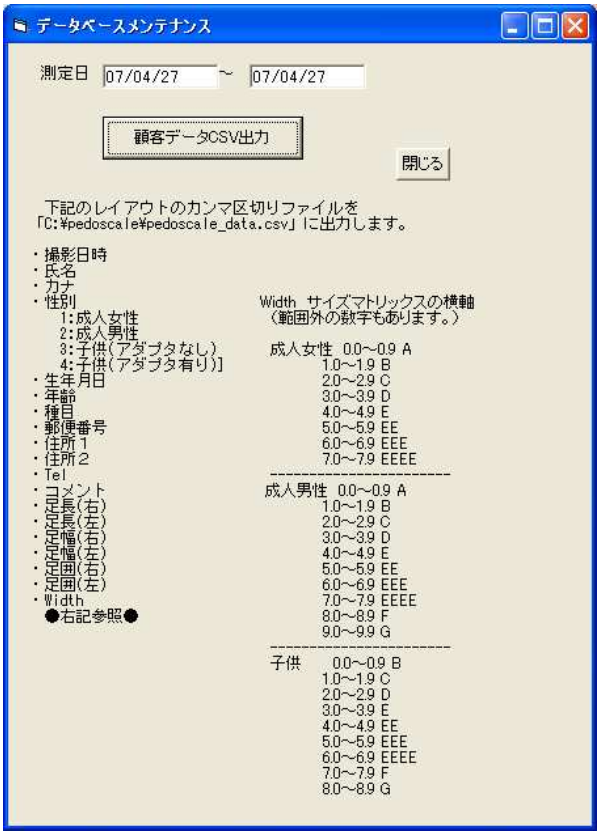
・撮影日時
・氏名
・カナ
・性別
　1:女性
　2:男性
　3:子供(アダプタなし)
　4:子供(アダプタ有り)]
・生年月日
・年齢
・種目
・郵便番号
・住所1
・住所2
・Tel
・コメント
・足長(右)
・足長(左)
・足幅(右)
・足幅(左)
・足囲(右)
・足囲(左)
・右足サイズ
・左足サイズ
・Width（下記参照）

Width　サイズマトリックスの横軸　（範囲外の数字もあります。）

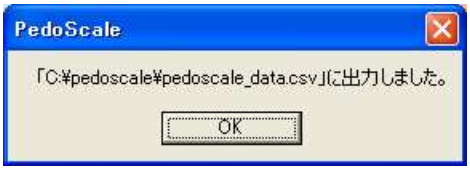
女性	男性	子供
0.0～0.9 A	0.0～0.9 A	0.0～0.9 B
1.0～1.9 B	1.0～1.9 B	1.0～1.9 C
2.0～2.9 C	2.0～2.9 C	2.0～2.9 D
3.0～3.9 D	3.0～3.9 D	3.0～3.9 E
4.0～4.9 E	4.0～4.9 E	4.0～4.9 EE
5.0～5.9 EE	5.0～5.9 EE	5.0～5.9 EEE
6.0～6.9 EEE	6.0～6.9 EEE	6.0～6.9 EEEE
7.0～7.9 EEEE	7.0～7.9 EEEE	7.0～7.9 F
	8.0～8.9 F	8.0～8.9 G
	9.0～9.9 G	

1）　画面の右下の「ＣＳＶ出力」ボタンをクリックします。

2） 測定日を指定し、「顧客データ出力」ボタンをクリックします。



3） 下記のメッセージが出れば完了です。
「ＯＫ」ボタンをクリックし終了させてます。

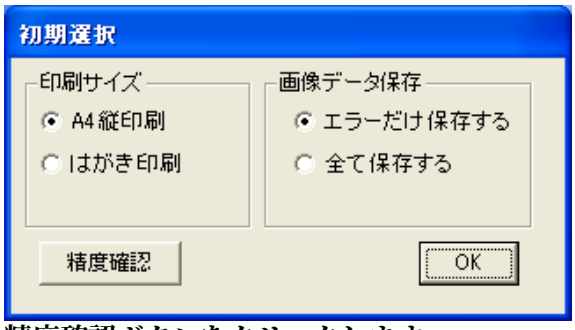


4） 「C:\footscale」（ドライブC直下のfootscaleフォルダ）に「pedoscale_data.csv」と言うファイルが作成されます。

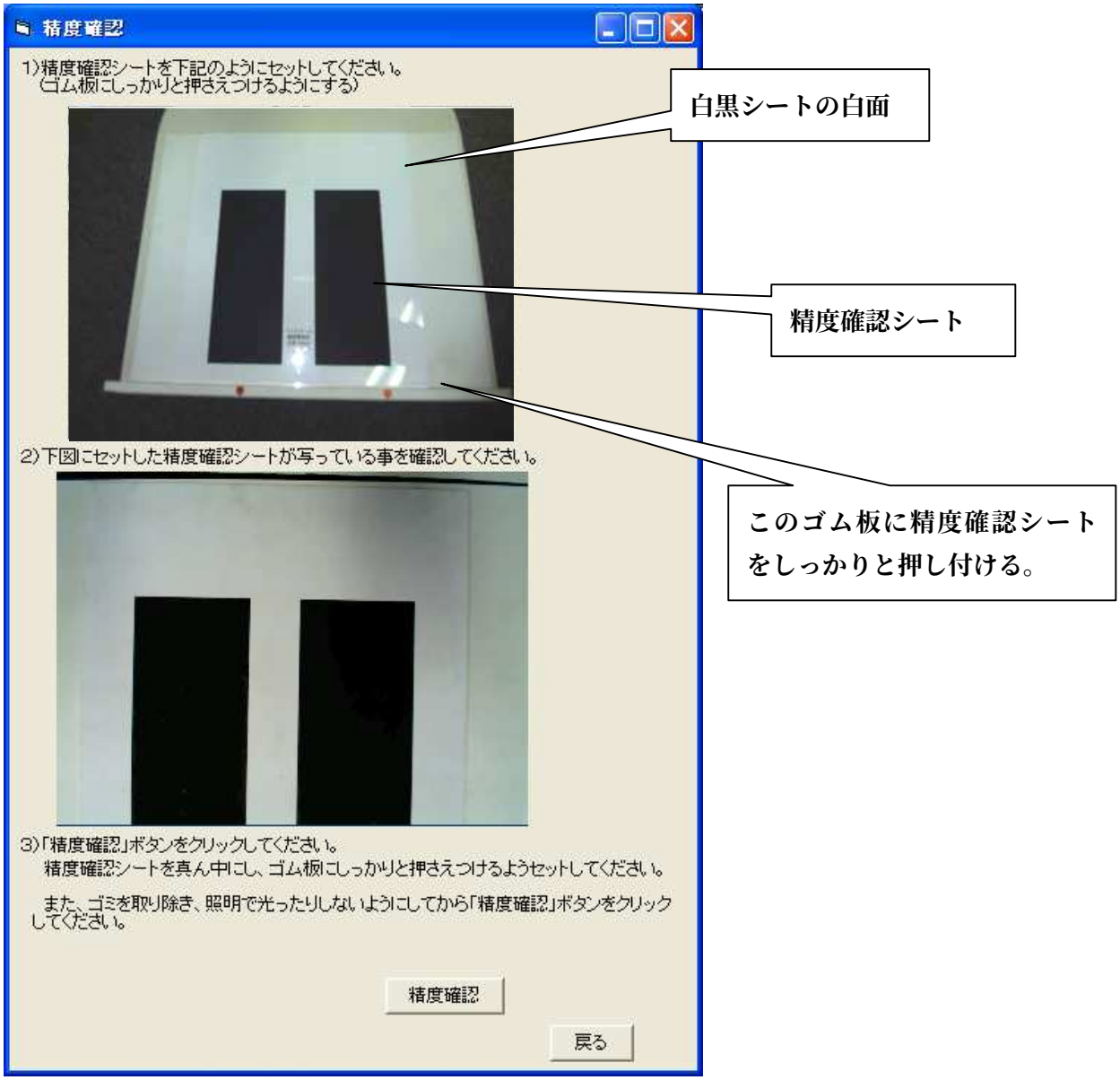
5） 「閉じる」ボタンでこの画面が閉じます。

4．精度確認

ソフトウェア起動時の「初期選択」で精度確認を行うことができます。
（測定画面で「精度確認」を指定し精度確認シートの測定を行う事もできます。）

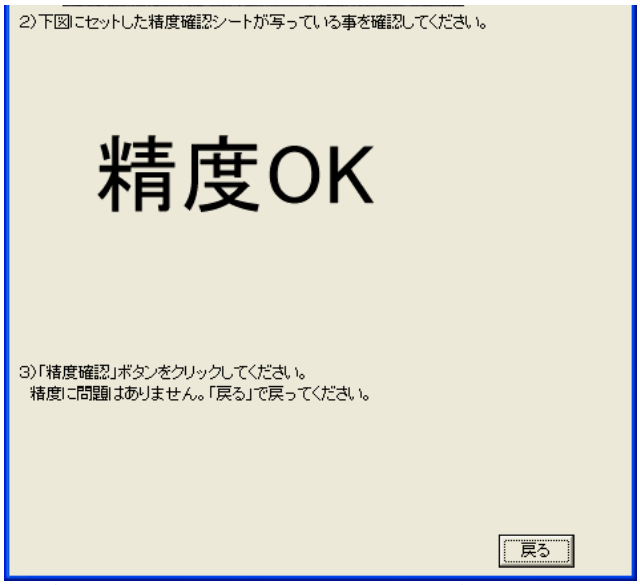


精度確認ボタンをクリックします。



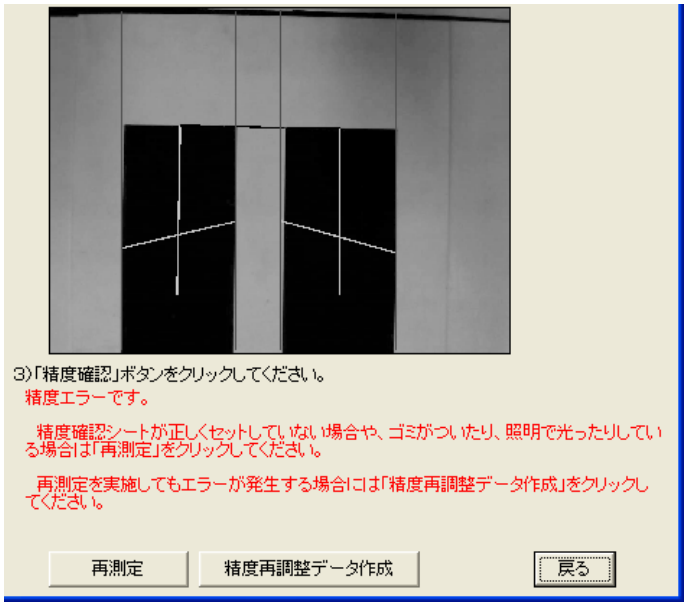
画面の指示に従って「精度確認シート」を置き、「精度確認」ボタンをクリックしてください。

問題が無い場合は下記の画面を表示します



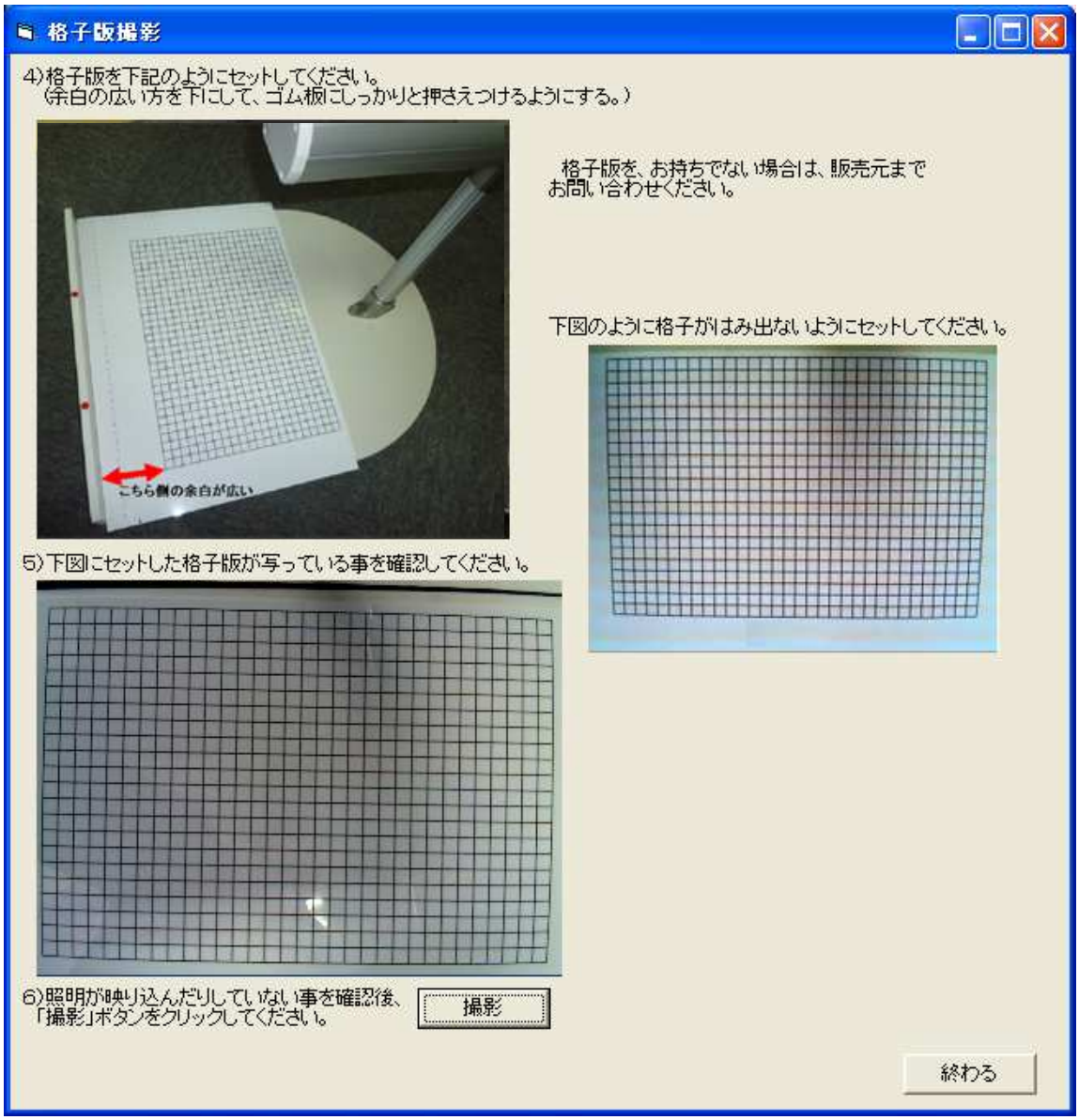
「戻る」でFootscaleウィンドウに戻ります。

問題があった場合は下記の画面を表示します。



1) 精度確認シートが正しくセットされている事を確認し「再測定」を実施してください。
   ＜チェック項目＞
   ・精度確認シートが光って正しく写っていない
   ――＞照明を工夫してください。
   ・シート上にゴミ・汚れがついて、ゴミ・汚れの部分を測定している。
   ――＞ゴミ・汚れを取ってください。
   ・精度確認シートとゴム板の間に隙間がある。
   ――＞ゴム板に精度確認シートをしっかりと押し付けてください。

2) 再測定しても精度エラーになる場合は「精度再調整データ作成」を選択してください。



画面の指示に従って「格子版」を置いてください。
（格子版をお持ちでない場合は販売元までお問い合わせください。）

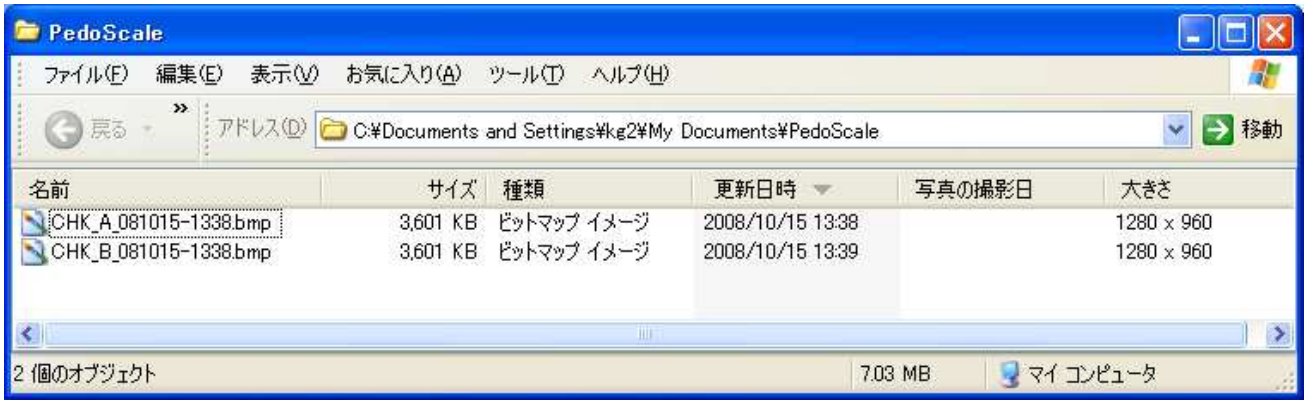
撮影範囲に格子が全て写っており、照明が写り込んだりしていないのを確認してください。

「撮影」ボタンをクリックしてください。

「保存フォルダを開く」ボタンをクリックし保存された画像ファイル（２個）を指定のアドレスに送っていただけるようお願いいたします。

後日、再キャリブレーションのデータを手順と共に返送させていただきます。

保存フォルダを開いた例



第5章　Q＆A

質　問	答　え
足の振りによって測定値は変わるか？	足方向の補正を実施していますが微妙に変化する場合があります。 従いまして、できるだけ画面上の線に合わせて真っ直ぐに立っていただく必要があります。 【補足】 フットスケールのみならず、従来型の足型計測器についても同様のことが言えます。長さについてはコンピュータの内部座標、計測部の座標もある基準を元に検出、計算を行います。フットスケールの場合は、足をのせるプレートの四角い枠の長手方向と平行に足軸中心線を置く必要があります。 身近な例では、身長の測定する時、測定具に背中をあわせ最後に「あごをひいて」と声をかけられた覚えがあると思いますが、このことと同じで生体計測には体勢に制約を加えることが必須条件となります。
移動販売でも使えるか？	精密機械ですので、できる限り運送移動はお避けください。 ある程度の移送に耐える設計をしていますが、運送中に乱暴な取扱いをされて、機械が壊れる可能性があります。 この場合の故障については、保証対象外ですので、ご購入先の責任において、梱包に充分注意され、運送保険をお掛けの上、移送して下さい。
体重の制限は？	１５０ｋｇまでです。
人の足以外のものの長さも計れる？	基本的には、人の足以外の長さは計れません。 フットスケールは、取込んだ画像の中で「人の足」を識別させ且つ、誤動作を防ぐための、特殊なプログラムを組んでおります。
素足でも計れる？	靴下を履いても、素足でも計れます。
左右の大きさが極端に違った表示になった	体重の懸かり具合、靴下のよれ、糸屑の付着等が、原因している可能性があります。画面上の足先端、ボールジョイントの位置に異常がないか確認の上、再度計測してください。
連続して計ると前に測った数値と異なる。	同上の原因が、考えられますので原因をご確認の上、再測定してください。
測定原理はどのようになっているのか？	カメラで足表の画像を取り込み、接続されたパソコンのソフトウェアにより、足長、足幅方向の最も突出した部分の長さを、測定します。 足幅については、さまざまなﾁｪｯｸ機能を盛り込み、もっとも正しい値を出すよう、プログラムされています。
足囲の計算は？	手計りのデータを入力する事ができます。

第6章　主な仕様

型名	PDS300
品名	フットスケール(PedoScale2)
測定対象	人の両足（足長・足幅）
測定条件	足長　３０㎝～１０．５㎝、足幅　１３㎝以内
被測定者体重	１５０Kg以内
測定時間	1秒以内
データー処理時間	３秒程度（足サイズにより変動）
分解能	１mm
電源	カメラの電源はパソコンからＵＳＢケーブルで供給されます。
許容動作温度	１０℃～３０℃
設置条件	動作姿勢水平　　動作湿度　２０%～８０%ＲＨ 強い直接照明下での使用は避けてください。
外形寸法	４００(幅) ×　５０５(奥行) ×　４００(高さ) ／㎜
重量	約４Kg
付属品	子供用アダプタ、黒／白シート

第7章　アフターサービスと保証

保証書

この商品は保証書を発行しておりませんが、製造番号によって販売日を管理しております。指定の窓口にお申し出くだされば、保証期間内であれば無償で、それ以後は有償で、アフターサービスをお受けになれます。

保証期間

保証期間は、お買い上げ日から1年間です。なお、保証期間中でも次のような場合は有償となりますので、ご注意ください。

- **使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。**
- **お買い上げ後の落下、輸送などによる故障または損傷。**
- **火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、異常電圧による故障または損傷。**

修理を依頼されるとき

明石市	**㈱アクティブ**	**本社**	**TEL：078-919-5070**	**担当：喜川（きがわ）**
東京（池袋）	**㈱アクティブ**	**東京支社**	**TEL：03-5953-5522**	**担当：田村**

アフターサービスについて

ご不明な点は、お買い上げの販売店までお問い合わせください。